



ふくおか [Good] 農業人100
 主な農産物 / トマト、イチジク

米倉 謙一郎さん (36歳)

(営農地 / 糸島市二丈上深江)

美味しい果実を食べたい、大好きな人達にも食べさせてあげたい

《就農のきっかけ》

植物を育てるのが好きだったこと

元々植物を育てるのが好きだったこともあり、短大卒業後、造園土木会社に就職しましたが、自ら植物を育ててみたいと農業を選び、自分の好きなトマトを作ることを決意しました。

熊本県の農業法人で4年間働き、栽培に対する自信がいたので、福岡に戻り、就農しました。

《これまでの過程》

就農は知識と経験そして覚悟が必要

平成18年1月、畑を取得し、3月にイチジクを定植、10月にビニルハウスを建ててから、トマトを定植したことが、農業の開始です。

50aの一枚の畑でトマト(20a)とイチジク(15a)を栽培しています。トマトは8割が大玉トマト、残り2割は中玉トマトなどを栽培しています。イチジクは、「とよみつひめ」や外国産品種も栽培しています。

販売先は、糸島地域の直売所(伊都菜彩など)へ出荷しています。また、労働力不足もあり、就農後2~3年は、栽培管理が行き届かず、苦勞されたということです。現在は、雇用を導入することで、品質向上と売上アップにつながっています。

《これからの展望》

独自色を出した

こだわりのトマトとイチジクを作る

トマトは、味と品質・収量の向上を図っていききたいと思います。イチジクは、外国産品種の中から良品を選抜し、売上げを伸ばしていきたいと思っています。

将来は、独自色を出したこだわりのトマトとイチジクの栽培はもちろんのこと、加工まで取り組んでみたいと思っています。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母、本人 ■前職 / 農業法人(熊本県)
- 営農年数 / 約 8年 ■従業員数 / パート5名
- 耕作(経営)面積 / 50a ■販路 / 直売所



Good 成功のためのポイント

熊本県のトマト農家で4年間、種まきから出荷作業までトマト栽培の一連の作業を学び、頭だけでなく、体で覚えたことが大きかったと思います。市役所など、関係機関の担当者の方々にもご尽力をいただきましたが、何よりも家族の理解と応援と支えが成功の大きなポイントとなりました。ただ漠然と「農業がしたい」だけでは駄目です。就農するということは、起業することと同じで、知識と経験そして覚悟と資金が必要です。まず、農業を体験し、自分に向いているかどうかを判断した上で、県農業大学校や農家などで勉強し、自分がやりたい農業の形を明確にしてから、関係機関に相談に行くことをお勧めします。農業は、楽しく、やりがいのある仕事ですが、向き不向きがあります。自分と作物を信じて、根気強く、長い目で物事を捉えられる人に向いているかもしれません。